

道路を活用した社会実験「きりしまストリートテラス」の実施結果及び今後の展開

■日時 令和2年11月17日（火）～11月23日（月・祝）の計7日間  
午前9時から午後9時（実際の営業時間は、各店舗の営業時間に準じる）

■場所 新市街通りの歩道の一部  
川跡通りの一部（交通規制あり）

■実施主体

主催 霧島リノベーションまちづくり実行協議会  
（構成団体＝霧島市・霧島商工会議所・霧島市商工会）  
共催 こくぶ通り会連合会

■実績

○新市街通り

（1）参加事業者 5事業者

沿道飲食店：沖縄酒楽やがて、すし魯くら、海船ぶた丸  
ワークショップ等：Posi×Posi&いいこ、MASAYAN

（2）内容

・テラス席の設置又は歩道上での物販等

○川跡ちょうちん通り

（1）参加事業者 9事業者（川跡ちょうちん通り会）

赤ちょうちん真心、小さな brasserie 東雲輪、居酒屋イザヤン、R.R.R、THE HOUSE、  
炭火焼鳥やがて、居酒屋ひょうたん、呑喜坊主、若大将

（2）日時 令和2年11月19日（木）～11月22日（日）の計4日間

各日17時から21時まで（交通規制は16時から22時まで）

（3）内容

・歩行者天国による屋外飲食スペースの設置（通り会による運営）

■参加店舗の主な意見

- ・1回目ということで周知もあまりされてなかったですので継続が大事だと思います。
- ・今後も積極的に活用したい。
- ・立地上、深夜までの営業店舗が多いので22時くらいまでの営業が望ましいです。
- ・テラスという点では飲食店の方が最適かと。ワークショップ等の場合少し分かれた分野（日にちとか）で活動・参加したほうが良い。
- ・色々な方と出会えて知ってもらえるきっかけになった。今回をきっかけに私たちも街中をアットで明るくできるような活動していきたい。参加させていただきありがとうございました。

- ・スタッフの数が少なく外の利用を控えた日もあった。
- ・新市街通りの場合、県道を挟んでいるので飲食店が固まって集まるという感じは無かった。

#### ■利用客のアンケートまとめ（回答 19 件）

##### ①年齢層

10代10%、20代5%、30代21%、40代37%、50代16%、60代11%

##### ②男女比

男性68%、女性32%

##### ③居心地・サービス

大変良かった84%、まあまあ良かった11%、ふつう5%、少し悪かった・悪かった0%

##### ④リピート意向

積極的に利用したい95%、どちらでもない5%、あまり利用したくない0%

##### ⑤主な意見

- ・空間の活用が良かったです。
- ・荷物を入れるかごがあるといいと思った。外でいつもと違う雰囲気よかったです。お寿司がとてもおいしかったです。
- ・まちなかの楽しみ方が変わって良い。
- ・寒くなるので、コタツがあると楽しいんじゃないか。
- ・おでんなど普段ないメニューも対応してもらいすごくよかったです！ぜひ今後も続けてほしいです。
- ・非常においしくて楽しかったです。
- ・寒かった。
- ・時間を長くしてほしい。
- ・係の人達の態度が良くてすごく心地よかったです。
- ・鹿児島にこんなサービスがもっと増えたらいい。
- ・アートな世界に触れたい気分だったので、大変癒され楽しい時間でした。
- ・もっと広がってくといいなと思いました。
- ・店が少なくて寂しい
- ・広い場所でもっといろいろ企画してほしい。

#### ■その他SNS等の声

- ・もっとストリートの活用を推進してほしい。
- ・海外の街並みを垣間見れることができた。
- ・この風景を日常にしたい。
- ・ストリートがフードコートのような感覚で楽しかった。

## ■結論

・新市街通りについては、参加店舗は少なかったものの、歩道上には普段は無いテラス席があることで、視覚的な賑わいをもたらしていた。特に、実行協議会で用意した屋台スタンドについては、一つ道路に設置するだけで歩行者が立ち寄るきっかけとなっていた。

・飲食店だけでなく、物販等を行うお昼の時間帯の参加もあり、普段まちを歩かない方々の来客もあるなど、道路の活用がまちに賑わいをもたらすきっかけになった。

・今回の社会実験を通じて参加した飲食店は、それぞれのお店で新たなサービスを展開するなど創意工夫が見られた。(普段無い温かいメニューの用意、インターホンの設置など)

・来客者からは「まちなかの楽しみ方が変わって良い」「この風景を日常にしたい」などの声が上がった一方で、道路占用・使用の許認可に時間を要し、参加店舗や市民への周知期間が短かったこともあり、参加店舗も少なく、参加した店舗からは期待していたほどの集客は無かったとの声もあった。

・利用客の満足度やリピート意向については比較的高く、利用者数(ニーズ)は少数であるものの、テラス席や路上物販への期待値は高いことが伺える。

・一区間の歩道であっても、隣接する建物等の形態は飲食店もあり、空テナントや商業施設の広場など様々であるため、そのポイントに応じた柔軟な道路占用・使用の許認可申請が必要であった。

## ■今後の展望

・コロナ対策の道路占用特例が R3.3 月末まで延長となったことから、本事業を検証しながら期限までに再度実施する予定。

・またコロナ対策の道路占用特例で実績を重ね、R2.11.25 から施行された歩行者利便増進道路(ほこみち)の指定制度の活用を目指していきたい。

## ■実施の様子

### ○新市街通り





○川跡ちょうちん通り



■メディア掲載

- 地元店舗が道路空間でテラス席など営業、霧島市が社会実験／新・公民連携最前線（令和2年11月16日）
- 歩道を活用し営業実験 実施／朝日新聞（令和2年11月17日）
- 歩道活用の可能性探る 国分で社会実験「ストリートテラス」／南日本新聞（令和2年12月1日）